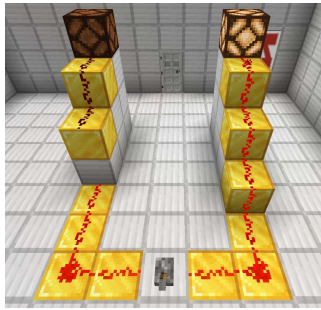


レッドストーン 基本編 チートシート(虎の巻)

回路

階段状に動力を伝えよう

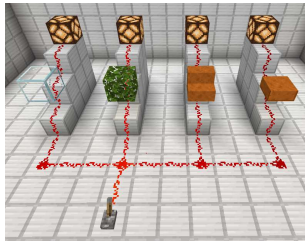
レッドストーンを使って、階段状に動力を伝えることができます。ただし、段差が2段以上あると伝わりません。



階段状回路の切断

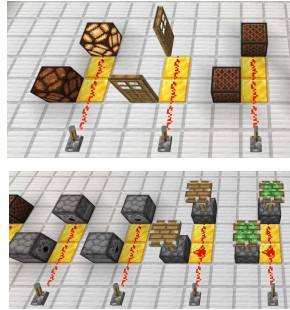
階段の途中にブロックを置くときは、回路を切断しないよう注意しよう。

透過ブロックなら回路を切断しないが、それ以外のブロックだと切断するよ。



出力装置にはまっすぐつなげよう

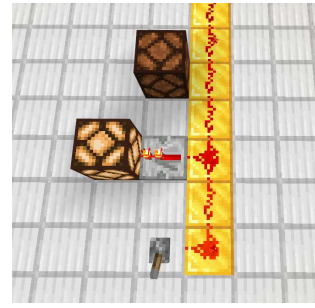
出力装置に動力を与えるためには、まっすぐに回路をつなげます。回路の横に出力装置をおいても、動力はあたえられません。※ピストン、粘着ピストンは除く



入力装置、伝送装置は横からOK

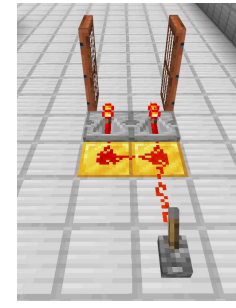
入力装置と伝送装置はレッドストーンの横からつながる。

※伝送装置・・・レッドストーン、レッドストーン反復装置、コンパレータのこと。



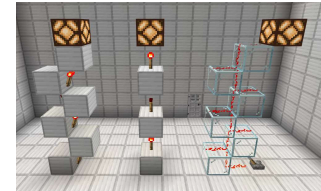
横の回路を接続させない

レッドストーン反復装置とコンパレータはすぐ横においても、回路が接続しません。



上方向に回路を伸ばそう！

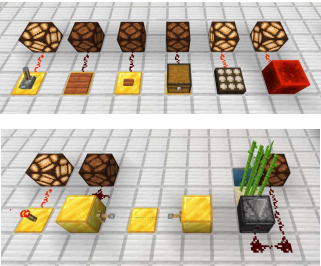
- ①ガラス(透過ブロック)パターン
- ②レッドストーン1列パターン
- ③レッドストーン2列パターン



動力

動力を発生させるもの

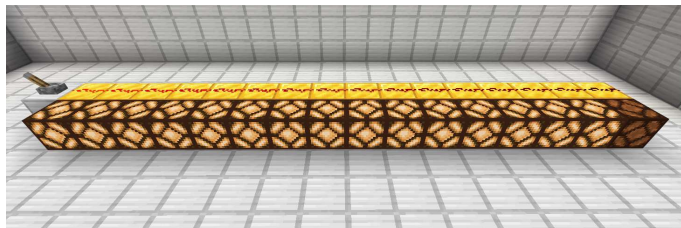
動力を発生させるものを入力装置と言う。



動力の強度とは？

動力の強度には0~15のレベルがあります。レッドストーン内を伝わる動力は、1ブロック分進むたびに強度が1下がります。

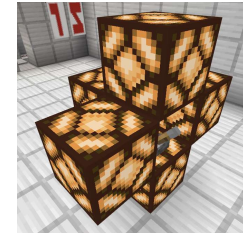
動力の強度によって、出力装置の動作(ランプの明るさなど)は変わりません。



動力がつながる範囲は？

入力装置を置いた時、その動力は前後左右上下の1ブロックにつながります。

例外)レッドストーンたいまつは上のみ、観察者は後ろのみ



レッドストーンたいまつは動力

レッドストーンたいまつは設置したブロック以外の前後左右上下に伝わりません。 ※さらに上のブロックは動力源化する。

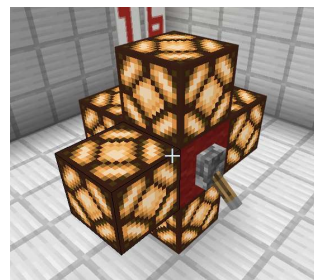


動力源化

ブロックの動力源化とは？

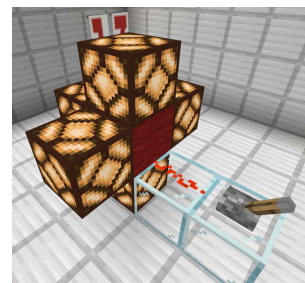
動力を受け取ったブロック自身が動力源となることです。

動力源化したブロックからでる動力は前後左右上下の1ブロックにつながる。



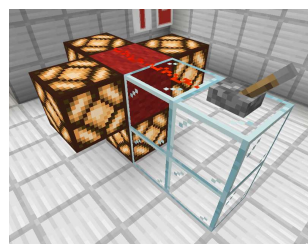
動力源化する接続パターン①

伝送装置で側面から接続したブロックは動力源化します。



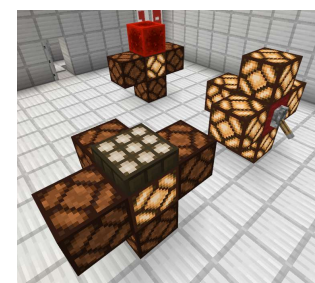
動力源化する接続パターン②

レッドストーンの下ブロックは動力源化します。



動力源化する接続パターン③

入力装置を設置したブロックは動力源化します。例外)レッドストーンたいまつは上を動力源化 観察者は後ろを動力源化 レッドストーンブロックはしない 日照センサーはしない



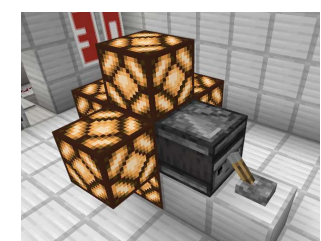
動力源化する接続パターン④

レッドストーンたいまつの上のブロックは動力源化します。



観察者の性質を知ろう

観察者は正面(顔の方)の状態を観察し変化があった時、後ろのブロックを動力源化します。

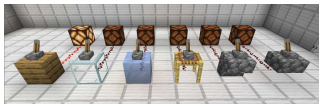


レッドストーン 基本編 チートシート(虎の巻)

動力源化

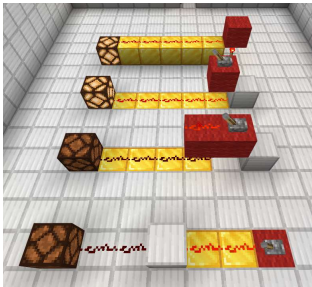
「動力源化しないブロック」は？

透過ブロックは動力源化しません。



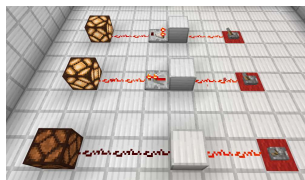
動力源化ブロックから伝わらない

レッドストーンで動力源化したブロックは動力を伝えません。



動力源化ブロックから伝える

レッドストーン反復装置とコンパレータは後ろのブロックの信号を前に伝えることができます。



レッドストーンたいまつ

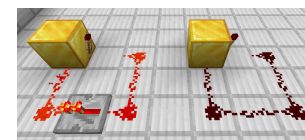
RSたいまつのオンオフを替える

レッドストーンたいまつは動力源、または動力源化したブロックに置くと、オフになります。



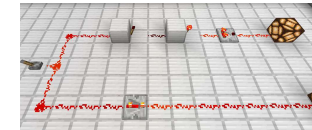
RSたいまつは焼き切れる

オン/オフの切り替えが高速すぎると焼き切れます。
焼き切れを防ぐためには、遅延をさせましょう。



遅延する装置

レッドストーンたいまつとコンパレータを動力が通過する時、信号が1遅延します。



レッドストーン反復装置

動力の強度を回復させよう！

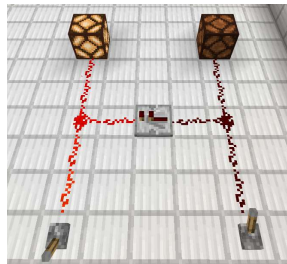
強度を最大値(15)まで回復できます。



レッドストーンの信号をとめよう

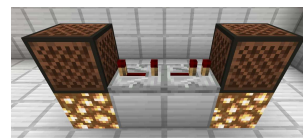
レッドストーン反復装置とコンパレータは一方方向のみ動力を伝えます。

それを利用して、信号をとめることができます。



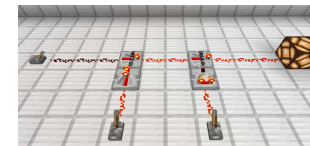
信号を遅延させよう

レッドストーン信号を遅延させることができます。
遅延させるレベルは1~4まであり、右クリックで設定できます。



信号の状態をロックさせよう！

横からの入力(サブ入力)で、出力状態をロックできます。
ロックすると後ろからの入力(メイン入力)が変わっても、出力は変わりません。

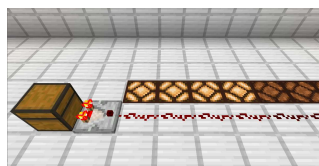


コンパレータ

コンパレータでアイテム量を知る

チェスト、ホッパー、額縁を付けたブロックなどとつけた時、動力を出します。

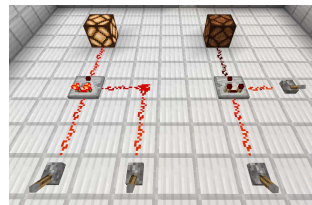
入っているアイテムの量によって、動力の強度が0~15の間で変わります。



動力の強度を比較する

比較モード…先頭のランプがオフの状態

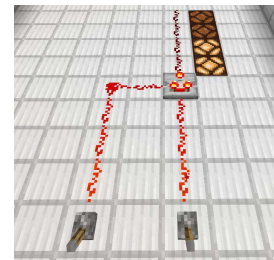
メイン入力>サブ入力の場合
メイン入力=サブ入力の場合
・メイン入力と同じ強度の動力を出します
メイン入力<サブ入力の場合
・動力は出しません。



動力の強度の差を知ろう！

減算モード…先頭のランプがオンの状態

メイン入力の強度からサブ入力の強度を引いた強度で動力が出されます。



機能無効化

動力を送って機能を無効化しよう

ホッパーに動力を送るとアイテムの移動が止まります。

動力が送られてるドロッパー、発射装置にさらに動力を送っても、発射しません。

